

暮らしを圧迫する保険料・税金

「女性の暮らし実態アンケート」の集計を受けて、2月22日に市内・南部の、24日に北部の支部女性部代表者会議を開催、結果を報告し話し合いました。21支部29人が出席しました。

アンケートには全支部が取り組み、過半数の回答が集まりました。集計結果は女性部だより3月号と一緒にA3両面印刷にして全員に届けます。組合員以外で回答してくださった方たちにもお渡しして、年金者組合への加入を呼びかけてください。支部によっては、自ら集計しグラフ化したところもあります。グラフ化は難しくても数字をまとめて府本部に送ってください。

今回の特徴

今回の特徴的なことは2018年と比較して①年金月額10万円以下が10ポイント増え、

女性部だより

年金者組合
京都府本部
女性部発行
2023年
3月15日発行
(第185号)



市内・南部の代表者会議(2月22日)

46%になってきている②なんか普通に暮らしているが、旅行や外食はしない、服も化粧品も買わない、文化的なことから離れている(これって普通?)③それでもボランティアや楽しみ事でも外出している(年金者組合のサークルがゆとり)

「たすけあい 介護サービス」

年金者組合員は介護保険制度を利用した福祉用具使用時の利用者負担分(1割)の助成を受けられます。ベッド、車いすなど13種類。まずは相談してください。

受付窓口

03-6256-8967
・全労連共済共済事業会
・日本フロンティアネットワーク



「アンケートまとめ」の冊子ができました。各支部に1部、各支部女性部に1部お届けします。ぜひ全文に目を通し、ご活用ください。

集計結果は自治体交渉や女性団体、団体女性部との交流に役立てます。そして何よりもみんなで読み合い、感想を出し合うなどして年金学習を深め、まともな暮らしができる年金制度の実現へ大きな組合を作り運動を広げていきましょう。

暮らせる年金制度 実現へ

④負担感が大きいのは国保・介護保険料、食費、税金、水道光熱費(行政に生活を手助けしてほしいのに、逆に保険料や税金で苦しめられている)。
また、夫婦2人だから暮らせるが1人になったらどうなる、子や孫の働き方の心配、補聴器のこと、交通問題、田畑や家屋の維持など色々なことで不安を抱えていることも分かりました。

控訴人2人の女性が 意見陳述(年金裁判)

2月16日、大阪高裁に117人が集まり、全員が傍聴しました。福知山の堀昭子さんと南の井上和子さんが、夫婦の歴史をふりかえって「夫は老後を存分に生きぬけたか」「医療費のためのやりくりに胸が張り裂けそう。ゆとりなんて夢のまた夢」と涙をこらえて述べられ、ご本人の声で聞くと私も胸が一杯になりました。井上さんに裁判所での証言の感想を聞くと、「裁判のやり方が頭に来た。裁判長はボンボン、被告(国)側は黙っている、討議もなく台本通り淡々と進めるだけ」とご立腹でした。本当にテレビドラマとは大違いで、2人の証言にも、森川弁護士が発言にも、何の反応も示さない被告(国)側の態度は、私もむかつきました。

京都地裁裁判官は女性の低年金を認めましたが、高裁の裁判官には聞く耳とまともな共感力があるでしょうか。ハガキを大量に集めて判決させたいものです。(A)



2・19緊急集会

「9条改憲NO! 全国市民アクション京都」は2月19日、円山音楽堂で、『「安保3文書」閣議決定、大軍拡・大増税の撤回を求める緊急集会』を開き約700人が参加、集会後は京都市役所までデモ行進しました。

午前中の雨でベンチはビショビショ、タオルや手持ちの紙で拭きとってなんとか座ることができました。主催

者と来賓4人がスピーチ。『「敵基地攻撃能力」保有は憲法違反』、「安保法制で日本は戦争当事国になってしまう」との言葉が耳に残りました。

集会後は「大軍拡・大増税許さない」「軍事費削って暮らしにまわせ」と市民にアピール。和服姿の外国人グループが手を振ってくれたので、こちらも応えて手を振ったけど分かってきているのかな～。でも平和が一番だよ。(M.N)

アンケート結果を活用しましょう!!

- ・自治体への申し入れでグラフと声を示して
- ・各支部でのまとめ作成も次々と

高運連主催の京都府交渉でもカラーの資料を配って、「年金は国のことだが、困っているのは府民ですよ」と詳しく厳しく発言しました。引き続いて京都市との交渉にも参加します。

京丹後市でも集会で写真のように要求を大書して女性部長がアンケート結果を発言。また、亀岡、向日、長岡京、城陽などからも「支部としてのまとめ」が届いています。自治体交渉を予定している支部もあります。

*支部のまとめができたら府本部へ送ってください。どんなに簡単なものでも結構です。また、作り方の相談などお寄せください。



切実な要求を発言する鬼東良子さん
(丹後支部)

「アンケートのまとめ」冊子は各女性団体などにも進呈し懇談する予定です。